

改めたり此式には兩親ある十三四歳以下の子供を  
 潔齋の爲め十四日の夜より社務所に宿泊せしめ其  
 日には麻上下を著け大小を佩かしめ恵方に向つて  
 を弓引き各一人にて矢を六十六本宛を射り終つて  
 其矢を一本宛を持ちて家に歸り屋根裏に挿すの風  
 あり。

以上述べたる所にて雑荒しの惡慣習は他所にも  
 類似の事あり宜しく制止すべき事なれども郊外に  
 赴き山に登る等は都會はさならぬ地方にても行ひ  
 て普及したき行事ならずや

### ○大正幼年唱歌集の完成

葛原函氏作歌の大正幼年唱歌集は今度いよゝ  
 第十二集が発兌されて、同唱歌集は完成の運びに  
 至りました。葛原氏の同唱歌集に對してのお骨折  
 は我が國の保育界に尠からぬ便益を與へて居りま  
 す。記者は同唱歌集の完成を喜ぶと共に、この際  
 全集の目次を次ぎに掲げて置きたく思ひます。

第一集		
一 幼稚園	二 さくら	三 飛行機
四 蝶と春風	五 私の先生	六 ビアノ
七 お庭の草花	八 お人形	九 お馬
一〇 かくれんぼ		
第二集		
一 噴水	二 ほたる	三 藤の花
四 汽車	五 シヤボン玉	六 かへる
七 小さな鯉	八 ブランコ	九 お船
一〇 せみ		
第三集		
一 お月様	二 蟲のこえ	三 飛行船
四 天長節	五 蓄音機	六 林檎
七 運動會の朝	八 腰掛	九 落葉
一〇 木舟泥舟		
第四集		
一 一月一日	二 雙六遊び	三 梅に鶯
四 雪	五 紀元節	六 ストオヴ
七 鸚鵡	八 活動寫眞	九 積木
一〇 犬と猫		
第五集		
一 ごもん	二 野遊び	三 葎たんぼぼ
四 お山	五 おべんたう	六 雛子
七 かたつむり	八 燕	九 お玉じゃくし

一〇鬼が島

第六集

- 一 水車
- 二 お猿
- 三 虹
- 四 七面鳥
- 五 向日葵
- 六 とんぼ
- 七 夕立
- 八 浦島太郎
- 九 夏休み
- 一〇 竹馬

第七集

- 一 お星様
- 二 お砂場遊び
- 三 雁
- 四 電車
- 五 お祭り
- 六 象
- 七 粘土細工
- 八 お客様
- 九 菊
- 一〇 乳母

第八集

- 一 餅搗き
- 二 お角力
- 三 お日様
- 四 紙風船
- 五 猿蟹合戦
- 六 あられ
- 七 畳み紙
- 八 熊
- 九 軍艦
- 一〇 大砲

第九集

- 一 舌切雀
- 二 風車
- 三 雲雀

幼兒訓練の標的(一)

幼兒訓練の標的に就て、各所の幼稚園へお尋ね致しましたところ、御熱心にお答へ下さいますて有難う御座います。この問題は非常に重要な問題でありますから、今後ともお互ひに十分の攻究

四時計

第十集

- 一 文福茶釜
- 二 記念日
- 三 ステイション
- 四 自動車
- 五 蟻
- 六 薔薇
- 七 朝顔
- 八 獨樂
- 九 進軍
- 一〇 鈴の音

第十一集

- 一 私の花壇
- 二 三羽の雀
- 三 小犬
- 四 花瓶の花
- 五 雲
- 六 私は善い子
- 七 雪
- 八 小さな蝸牛
- 九 少兵士
- 一〇 カンガルー

第十二集

- 一 サシガエロオス
- 二 蠅と蜘蛛
- 三 鶏
- 四 太陽
- 五 子猫
- 六 小
- 七 あひる
- 八 遊戯
- 九 森の唱歌
- 一〇 木馬

を要することと思ひます。尙この問題に關して多くの方から御意見がうかへれば幸であります。次ぎに掲載いたしました各園の御回答は次第不同であります。